

「人を対象とする生命科学・医学系研究についての情報公開文書」

研究課題名：シスプラチンによる腎障害の発現に及ぼす併用薬の影響に関するコホート研究

・はじめに

シスプラチンは様々ながんに対して使用される薬剤ですが、約5%の患者さんにおいて、投与開始後に腎臓の機能が1次的に低下(以下、腎障害)することが知られております。また、腎臓の機能低下により、薬物治療の中断や投与量の減量が必要となり計画通りに治療を実施できなくなってしまうこともあります。シスプラチンによる腎障害は尿細管上皮細胞と呼ばれる部分にシスプラチンが蓄積することで起こるとされていますが、近年、血管内から細胞内への取り込みに関わる輸送タンパク質が深く関与していることがわかってきました。消化性潰瘍の治療薬(プロトンポンプ阻害薬)や糖尿病の治療薬(SGLT2阻害薬)がこの輸送タンパク質に影響を与えることが知られており、理論的にはシスプラチンの腎障害を軽減できる可能性が考えられます。

そこで今回、私たちはシスプラチンによる治療を受けた患者さんを対象に、シスプラチンによる腎障害の発症頻度と、消化性潰瘍の治療薬や糖尿病の治療薬を含む薬(以下対象薬とします)の使用状況を調べ、統計学的に解析することで、対象薬の併用によってシスプラチンによる腎障害の発現を防ぐことができるか検証します。

こうした研究を行う際には、血液、組織、細胞など人のからだの一部で、研究に用いられるもの(「試料」といいます)や診断や治療の経過中に記録された病名、投薬内容、検査結果など人の健康に関する情報(「情報」といいます)を用います。ここでは、既に保管されているこうした情報の利用についてご説明します。

・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法(他機関に提供する場合にはその方法を含みます)について

群馬大学医学部附属病院においてシスプラチンによる治療を受けた患者さんについて、他の使用薬剤や過去に測定した検査値、体重などの基本情報と腎臓の機能に関する検査値を診療情報録(カルテ)から抽出します。各薬剤の使用状況とシスプラチンによる腎臓の機能低下の関連について解析します。

・研究の対象となられる方

群馬大学医学部附属病院において2010年1月1日から2023年3月31日までにシスプラチンが投与された20歳以上の方を対象に致します。

対象となることを希望されない方は、相談窓口（連絡先）へご連絡ください。

希望されなかった方の情報は、研究には使用しません。また、対象

となられる方の第二親等以内の方からも不参加の申し出を受け付けます。

ただし、対象となることを希望されないご連絡が論文等に公表される以降になった場合には、ご希望に添えない可能性があることをご了承ください。

・研究期間

研究を行う期間は学部等の長の承認日より2027年3月31日までです。

・研究に用いる試料・情報の項目

具体的な調査項目として、年齢、性別、身長、体重や病歴（がんに関する情報など）、治療歴（これまでに行った治療やそれに伴う副作用情報）、臨床検査値（腎機能、肝機能、白血球数、赤血球数、ヘモグロビン値、血小板数など）、腎障害に影響を与える併用薬の有無を研究のための情報として用います。なお、シスプラチンによる腎障害に影響を与える薬剤については、本研究対象薬以外にも多くの種類が報告されているため、本研究の対象薬の影響を正確に評価するため、それらの薬剤の使用状況も同時に調査を行います。

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。また、本研究により研究対象者となった患者さんが直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありませんが、将来研究成果はシスプラチンによる腎障害の発症および予防に関わる原因解明の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性があると考えています。

・個人情報の管理について

個人情報の漏洩を防ぐため、群馬大学医学部附属病院薬剤部においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は含まれません。

・ **試料・情報の保管及び廃棄**

研究のために集めた情報は、群馬大学の研究責任者(山本康次郎)が責任をもって、群馬大学医学部附属病院薬剤部にて、WEBなどに接続されていない独立したPC上のファイルにパスワードをかけて研究終了後10年間保管します。研究終了後10年後にデータ抹消ソフトを用いて廃棄いたします。

・ **研究成果の帰属について**

この研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性があります。その場合の特許権等は研究者もしくは所属する研究機関に帰属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。

・ **研究資金について**

この研究を行うために必要な研究費は、群馬大学医学部附属病院薬剤部および群馬大学大学院医学系研究科臨床薬理学講座の運営費交付金および研究助成金によってまかなわれます。

・ **利益相反に関する事項について**

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われぬのではないか(企業に有利な結果しか公表されないのではないか)などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反(患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態)と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・ **「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について**

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

・ **研究組織について**

この研究は、群馬大学医学部附属病院薬剤部が主体となって行っています。この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者

所属・職名：群馬大学大学院医学系研究科 教授・薬剤部長
氏名：山本康次郎
連絡先：027-220-8727

研究分担者

所属・職名：群馬大学大学院医学系研究科 准教授
氏名：荒木拓也
連絡先：027-220-8727

研究分担者

所属・職名：群馬大学大学院医学系研究科 病院講師
氏名：八島秀明
連絡先：027-220-8745

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤師
氏名：勝見重昭
連絡先：027-220-8727

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤師
氏名：柴崎由実
連絡先：027-220-8727

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤師
氏名：長井桃子
連絡先：027-220-8727

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤師
氏名：羽鳥真由
連絡先：027-220-8727

・研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

試料・情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

所属・職名：群馬大学大学院医学系研究科 教授（責任者）

氏名： 山本 康次郎

連絡先：〒371 8511

群馬県前橋市昭和町三丁目 39 - 15

Tel：027-220-8745

担当：八島 秀明

上記の窓口では、問合せ・苦情等の他、次の事柄について受け付けています。

- (1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知
試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
利用し、または提供する試料・情報の項目
利用する者の範囲
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法